

延岡HOT NEWS

～全国で2箇所開催～ 国土形成フォーラム I Nのべおか開催

1月21日（水）国土交通省・延岡市の主催による「**国土形成フォーラム I Nのべおか**」が全国2カ所のうちのひとつとして開催され、約750人が参加されました。

基調講演は、矢田北九州市立大学学長が「九州圏広域地方計画における三層の自立圏」と題し、「**道州制が導入されれば州都への一極集中を防ぐために基幹都市が重要**となる」旨などの講演をされました。

また、基調報告として「産業振興による地域自立圏の形成」をテーマに黒木日向市長は「宮崎県北地域を**黒潮交流圏と癒しの森交流圏というエリアに分け、エリア内外の連携が必要**である」旨の報告、吉玉延岡鐵工団地協同組合理事長は「**高速道路が繋がれば地域が自然と良くなると思うのは大きな誤解、一人の100歩より100人の一歩が重要である。**」旨の報告がありました。

基調講演



矢田北九州市立大学学長



会場の様子（延岡市野口記念館）

基調報告①



黒木日向市長

基調報告②

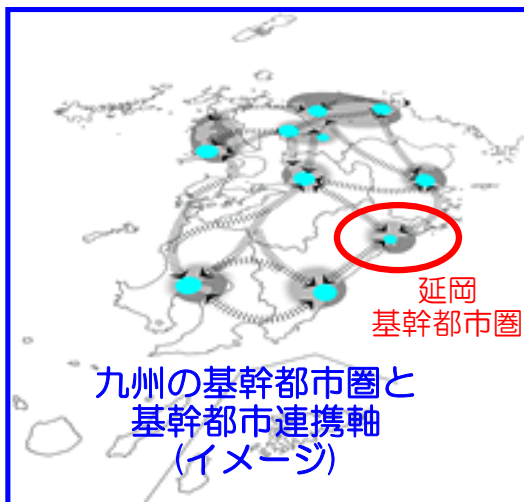


吉玉延岡鐵工団地
協同組合理事長

～2枚目に続く～

パネルディスカッションでは根岸裕孝宮崎大学准教授をコーディネーターに「基幹都市圏間の連携による自立広域圏の形成」をテーマとしてパネラーの幸山熊本市長は「**一体的な発展には縦軸ばかりでなく横軸の強化も不可欠。全線開通する九州新幹線の効果を宮崎でどう生かすか、という観点も必要**」、首藤延岡市長は、新生のべおかプロジェクトを紹介し、「**高速道路開通を目前に控え、県北地域を構造転換しなければならない。**」、水永宮崎県工業会会長は「**企業誘致や医師不足問題などに対応するためには広域的に連携し、互いの弱みを補完し合わなければならない**」、幾度国土交通省大臣官房審議官は「**連携は目的ではなく手段であり、どういう地域を創っていくのかという目的を明確にすべき。**」などの活発な意見交換がなされました。

当事務所も基幹都市圏の形成の一端を担うべく、事業推進に取り組んでいきます。



パネルディスカッションの様子

